



『おもしろ古典教室』

上野誠著 筑摩書房
2006年

(ちくまプリマー新書)
ISBN 978-4480687340

じつは古典も現代国語も嫌いでした…という著者は古典の先生。古典のおもしろエッセンスを紙上授業で講義してくれます。古典のとらえかた、印象が変わり、古典の魅力がみえてくる。

古典がおもしろい理由 ^{わけ} もっと!

- 『知ってる古文の知らない魅力』
(講談社現代新書) 鈴木健一著 講談社 2006年
- 『日本語へんてこてん；古典でわかる！
日本語のモンダイ』
あんの秀子著 ポプラ社 2007年

画像で竹取物語

- 国立国会図書館[貴重書画像データベース]
(<http://www.ndl.go.jp/>)



「おもしろい」からはじめるKOTENの世界 1

竹取物語

大人になって古典にハマる人、増えているそうです。なぜって「おもしろい」から。教科書じゃない古典の世界って楽しいらしい…。あなたも文法から離れて楽しんでみませんか？
まずは日本最古とされる物語「竹取物語」からいかが。

東京都立多摩図書館

<http://www.library.metro.tokyo.jp/j>

平成21年5月



『竹取物語』

江國香織文 立原位貴画
新潮社 2008年
ISBN 978-4103808084

「きらきらひかる」の作家、江國香織の現代語訳と浮世絵画家の立原位貴の版画のコラボレーションで描かれた竹取物語の世界。千年の時を超えて、よみがえる雅な平安の世界が楽しめる。



『竹取物語 伊勢物語 堤中納言物語』 (日本の古典をよむ6)

小学館 2008年
ISBN 978-4093621762

構成は、あらすじと現代語訳そして原文。現代語訳は小説のように読むことができ、物語の内容をじっくり楽しめる。内容を把握したら原文を読み進むのがおもしろい。高貴な位の求婚者たちが、うそをついたり騙したりと必死の様子であるのがまたたのし。



『竹取物語：対訳』

川端康成現代語訳 ドナルド・キーン英訳 宮田雅之切り絵
講談社インターナショナル
1998年
ISBN 978-4-7700-2329-2

The Tale of the Bamboo Cutter～竹取物語を英文で読んでみよう。

挿絵は宮田雅之の切り絵。1枚の絵を1本の刀で切り上げる技術は、国際的に高く評価されている。シャープで躍動感のある切り絵と英文の組み合わせが新鮮。